

議員発案第 1 号

1 級市道大浦山手線(道心坂区間)の整備促進を求める決議

本市議会は、別紙のとおり「1 級市道大浦山手線(道心坂区間)の整備促進を求める決議」をするものとする。

令和 7 年 12 月 12 日 提出

提 出 者 三条市議会議員 西 川 重 則

賛 成 者 三条市議会議員 阿 部 銀 次 郎

同 三条市議会議員 小 林 誠

同 三条市議会議員 燕 幸 男

## 1級市道大浦山手線(道心坂区間)の整備促進を求める決議

三条市・栄町・下田村の合併から20年を迎えた今日、下田地域と三条地域を結ぶ安全な幹線道路は依然として国道289号清流大橋の一本のみである。現在、国道289号八十里越区間の開通を目前に控え、安全な迂回路の確保は喫緊の課題であり、1級市道大浦山手線(道心坂区間)の整備は不可欠である。

道路整備は、地域連携、市民生活、経済活動、社会活動を支える最も基礎的な社会資本であり、市民の生命と財産を守り、活力と魅力あふれる三条市を実現するために積極的な推進が求められる。本路線の整備は、合併後20年間にわたり下田地域の自治会から最優先として要望されてきた、まさに地域の悲願の道路である。

本来、本路線は合併特例債を活用し整備されるべきであったが、旧下田村においては多額の工事費を要するため、早期改良を目的に県道移管を進めていた。しかし、合併時点ではその手続が途上であり、特例債の対象外となった。合併後は災害復旧工事等により手續が中断し、さらに県・市双方に課題が判明したことで移管は実現せず、現在に至っている。

この間、議会において度々質疑が行われ、市当局は「県道移管による県施工」を繰り返し答弁してきた。しかし、本来の目的は一刻も早い改良工事の実施による安全確保である。過去には死亡事故も発生しており、通過交通の安全確保は喫緊の課題となっている。

よって、三条市議会は、国道289号八十里越区間が早ければ来年秋に暫定開通することに鑑み、増加する通過交通の安全確保と、下田地域の悲願である三条地域とを結ぶ安全な幹線道路確保のため、三条市当局に対し、関係機関と連携した1級市道大浦山手線(道心坂区間)の整備促進を強く求める。

### 付記

本決議をもって、市民の生命と財産を守り、地域の連携と発展を支える基盤整備の実現を期するものである。

以上 決議する。

令和7年12月15日

三条市議会